

EA345RG - 50 周波数 50Hz
EA345RG - 60 周波数 60Hz
(水中ポンプ)

○ 付属品 ホースカップリング 1個
ホースバンド 1個

- 用途 一般土木、建築工事の排水用。雨水、湧き水、溜り水の排水用。地下室、各種ピットなどの排水用。プラントの二次処理排水用。一般の排水、揚水用
- ロックしにくいハイスピン構造
耐摩耗性を誇るウレタンゴムのハイスピン(渦流)羽根車を採用しさらにサクションカバーとの隙間が広く ロック の心配が少ない構造。また、メンテナンス時はポンプを逆さまにして立たせ、13mmのホックスレンチでポンプ部が容易に分解できるので効率よく作業が行えます。

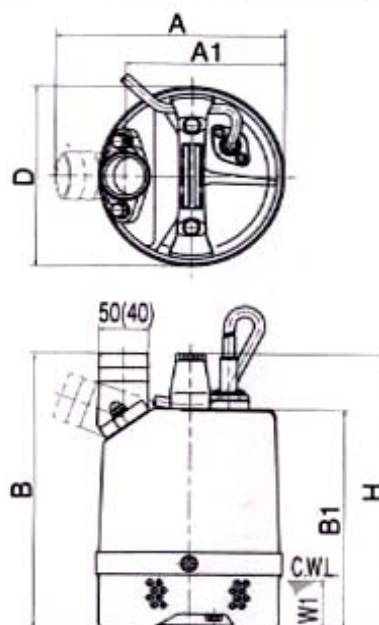


要部標準仕様

項目		吐出し口径(mm)	50
取扱液	質	雨水・湧き水・土砂水・工事排水	
	温	0~40℃	
ポンプ構造	羽根車	ハイスピン	
	軸封	ダブルメカニカルシール(オイルリフター付)	
	軸受	密封玉軸受	
	羽根車	ウレタンゴム	
	ケーシング	合成ゴム	
	サクションカバー	SPC+ウレタンゴム	
材質	軸封(メカニカルシール)	SiC	
	種類・極数	乾式水中形誘導電動機・2極	
モーター	絶縁	E種	
	相・電圧	50Hz専用 100/200V 三相200V 60Hz専用 100/200V 三相200/220V	
	保護装置(内蔵)	ミニチュアプロテクタ	
ケーブル	潤滑油	タービン油 VG32	
	フレーム	ADC12	
	主軸	SUS403	
	ケーブル	VCT	
接続		ホースカップリング	

単位：mm

C.W.L. (連続運転最低水位)



吐出し口径 50mm
出力 kw 0.48kw
相・電圧 三相200V
全揚程 8m
吐出し量 0.12m³/min
始動方式 じか入れ

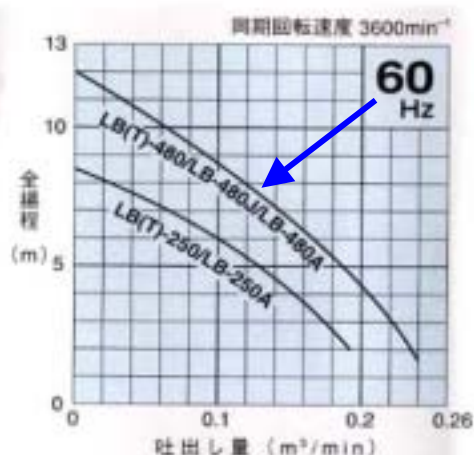
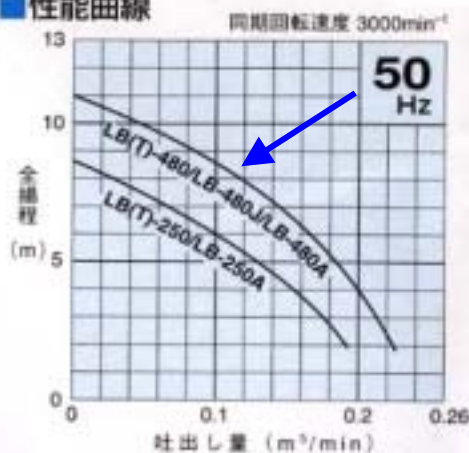
質量 9.5kg
異物通過径 6mm

サイズ (単位mm)

A 231
A1 161
B 286
B1 228
D 187
H 286
W1 50

キャブタイヤケーブル VCT 4芯X1.25mm² 長さ 5m

性能曲線



ストレーナスタンド
底板と一体成形の鋼板で、土砂の混入を防ぎます。



サクションカバー上面と羽根車は、FCDの3倍の耐磨耗性を誇る耐水性特殊ウレタンゴム。

羽根車



モータ

コンパクト設計のコンデンサ運転モータ搭載。モータフレームは軽くて強いアルミダイカスト。(LB(T)-250・480型はじか入給動モータ搭載)

上向き、横向き変更可能



オイルリフターを装備

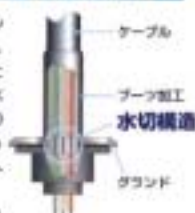
実用新案登録 国内外特許出願

万が一、オイルが減少してもオイルリフターによりメカニカルシール上部潤滑面の潤滑および冷却をより安定維持させる働きがあり、また、さらにメカニカルシールの長寿命化が図れます。



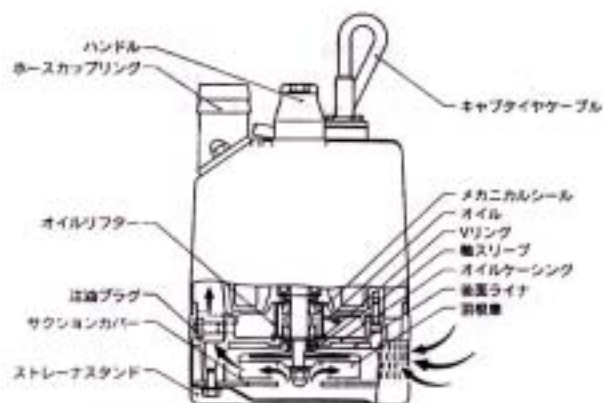
モータ内部への浸水を防止する水切構造

心線のすきまをシールする事によって万一、ケーブル外皮が破れたり、ケーブル先端が水につかった時、心線のわずかなすき間を伝ってくる水のモータ内への浸水を防ぎます。(LB型全型式、HS型H)



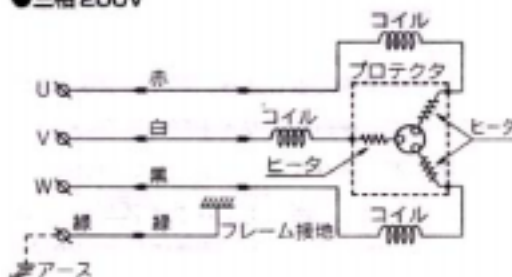
軽くて強いアルミダイカスト

アルミダイカスト・耐水性特殊合成ゴムなど軽い材料を随所に採用。本体質量は9.5kg(非自動形)・10kg(自動運転形)、と軽固です。



じか入れ始動

●三相 200V



電気配線

電気配線工事

- ⚠ 警告**
- ・電気配線は有資格者が行い、「電気設備技術基準」及び「内線規定」などに従って施工してください。無資格者による電気配線工事は、法律違反になるばかりでなく、非常に危険ですので絶対に行わないでください。
 - ・配線などに不備があると、漏電や火災、感電の原因になります。
 - ・ポンプ専用の漏電遮断器及び過電流保護装置を必ず取り付けてください。ポンプの故障や漏電の際に感電の恐れがあります。

電源及び配線の容量には、十分な余裕を持ってください。

接地（アース）について

- ⚠ 警告**
- アース線は確実に取り付けてください。ポンプの故障や漏電の際に感電の恐れがあります。
- ⚠ 注意**
- アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

電源接続について

- ⚠ 警告**
- 電源プラグを差し込む前や接続端子台に接続する前に、電源（漏電遮断器など）を確実に切ってください。感電・ショート・ポンプの不意な始動によるケガの原因になります。
- ⚠ 注意**
- キャプタイヤケーブルや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みが緩いときは、使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

三相電源の場合、キャプタイヤケーブル先端の接続端子を右図に従って緩みのないようにしっかりと制御盤の端子台に接続してください。

三相の場合

